

こんにちは
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

古谷やすひこです



古谷やすひこ事務所

日本共産党鶴見区委員会内
横浜市鶴見区潮田町2-120-2

電話 045-504-5121

FAX045- 504-7331

ブログ：古谷やすひこ
で検索を



公式LINE

市民の移動の自由を保障する地域公共交通計画を

横浜市では、地域交通の取り組みを推進する5年間のアクションプランとなる「横浜市地域公共交通計画」（素案）を策定し市民意見募集を行っていました。（1/20終了）

素案は、公共交通について「誰もが日常生活を送るうえで必要不可欠であるとともに、人々の外出を促し、健康増進やまちの価値の向上など多面的な効果をもたらすものである」と規定し、「市域全体で地域に適した交通サービスの充実を図る」としています。具体的な施策のイメージとして、交通不便地域を走るミニバスなど地域交通への支援を強める方向性が示されていることは歓迎します。しかし、ミニバスなどは市営バスなどの路線バスに代わるものではありません。

日本共産党横浜市議団（5人）は、素案に対して、地域交通の拡充の方向性を歓迎しつつ、市営バスなどの公共交通がもつ特別な役割をしっかりと位置付けたものにするなど求める提言を申し入れました。市都市整備局の松井恵太都市交通部長ら4人が対応しました。

市営バス人材確保強化と併せて民間バス事業者にも財政支援を

具体的には、計画の基礎に「移動の自由を保障する交通権、移動権」を明記することや、運転手不足で減便が続いた市営バスの人材確保策強化と併せて、民間バス事業者への財政支援をさらに行うことなどを要望しました。

他には、旧上瀬谷米軍基地跡地（瀬谷区）で予定されている巨大テーマパーク誘致を核とした再開発に関連して、巨大テーマパークと瀬谷駅をつなぐ無人バス専用道（半分地下道）の計画については、途中駅もなく、地域住民が求めている地域交通とはいえないものだと指摘。地域住民が望む地域交通の充実の内容へ抜本的に見直すことを求めました。安全面に不安が持たれているライドシェアについては「活用」しないことなど申し入れました。



公共交通の維持・発展を進めよ

古谷やすひこ団長は、市営バスが減ってしまったことについて、市民から沢山の叱りの声と不安の声が私たちにも届いている。市営バスがなぜ



申入れ全文はこちら→

「市営」なのかの意味が問われていると思うと述べ、市民の移動を保障する上で「他に代わり得ない」大切なものだとして指摘し、公共交通の維持・発展を進めることを強調しました。

松井部長は、市営バスも厳しいが、民間バスも厳しい。市として路線バスを維持するために民間の人材確保に向けた補助制度（家賃補助）の導入などを素案に盛り込んだ。ライドシェアについては、安全面についての課題が指摘されていたこともあり、積極的にガンガン進めるのではなく、地域公共交通の充実に向かう一つのオプション的な位置づけで、市としては様子見のスタンスと述べました。

2月9日は市議会議員南区の補欠選挙があります！

昨年12月20日に自民党の遊佐大輔市議（南区）が突然辞職したことに伴い、南区市議補選が1月31日（日）告示、2月9日投開票の日程で実施されます。日本共産党中央地区委員会は、前市議のあらき由美子を擁立すると発表しました。

あらき由美子を再び市政へ！と党市議団も南区に駆けつけて、街頭で市政報告等を連日行っています。



あらき由美子
公式HPはこちら

